



2023年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年2月6日

上場会社名 NKKスイッチズ株式会社
コード番号 6943 URL <https://www.nkkswitches.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役
四半期報告書提出予定日 2023年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 044-813-8026

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	7,829	17.6	902	11.5	1,038	21.0	904	37.5
2022年3月期第3四半期	6,657	34.3	809		858		657	

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 1,196百万円 (54.2%) 2022年3月期第3四半期 776百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	1,098.98	
2022年3月期第3四半期	799.01	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第3四半期	15,095	12,296	81.5	14,940.70
2022年3月期	14,074	11,223	79.7	13,637.48

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 12,294百万円 2022年3月期 11,222百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		75.00		75.00	150.00
2023年3月期		75.00			
2023年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,500	17.5	1,000	25.0	1,100	25.2	940	61.8	1,142.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正につきましては、本日(2023年2月6日)公表いたしました「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料7ページ「四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期3Q	842,520 株	2022年3月期	842,520 株
期末自己株式数	2023年3月期3Q	19,601 株	2022年3月期	19,592 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期3Q	822,927 株	2022年3月期3Q	822,946 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に掲載しております業績見通し等の将来に関する記述につきましては、当社グループが本資料の発表日現在にて入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提条件に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢や市場動向等に関わるリスク、不確定要因により変動する可能性があります。また、業績予想の背景や前提条件等の詳細につきましては、「添付資料」の2ページ「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く世界の経済環境は、新型コロナウイルス感染症対策と経済活動の両立が進展する中、ロシア・ウクライナ情勢の長期化による資源・エネルギー価格等の高騰に加え、急激な円安から円高への為替変動、中国におけるウィズコロナ政策への実質的な転換の影響など、先行きに対する不透明感が更に強まっております。日本経済におきましては、新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和等により、社会経済活動に持ち直しが見られましたが、世界的な金融引き締めが続く中、海外経済の減速が景気を下押しするリスクとなっており、エネルギー価格の高騰や物価上昇、サプライチェーンの混乱など、予断を許さない状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、2030年のありたい姿として制定した新グループビジョン「私たちが笑顔となり、お客様の困りごとを顧客目線で解決する真のパートナーとなります。」を実現するため、2022年度から3ヵ年の新中期経営計画をスタートいたしました。新中期経営計画では、新たな行動理念として「信頼し、信頼される良い会社」を制定するとともに、特に「信頼」と「納期」を重点テーマとし、グループの総力を結集してこれらに関する戦略を積極的に展開してまいりました。

以上のことから、当第3四半期連結累計期間の売上高は7,829百万円（前年同期比17.6%増）、営業利益は902百万円（前年同期比11.5%増）、経常利益は1,038百万円（前年同期比21.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は904百万円（前年同期比37.5%増）となりました。

なお、セグメントの概況は次のとおりであります。

第1四半期連結会計期間にドイツに新たに設立したNKK Switches Europe GmbHについて、第2四半期連結会計期間から事業を開始したことから、第2四半期連結累計期間から報告セグメント「米国」を「欧米」と変更し、NKK Switches Europe GmbHを「欧米」に含めております。

また、以下の前年同四半期との比較については、変更後の報告セグメントに基づいております。

① 日本

新型コロナウイルス感染症における行動制限の緩和等により、社会経済活動の正常化が進む中、景気は緩やかに持ち直しの動きがみられるものの、資源・エネルギー価格の高騰や物価上昇、急激な為替変動など、先行き不透明な状況が続いております。こうした中、当社グループの販売強化項目である「特定市場」や「ソリューションビジネスの確立」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は前年同期比1.5%減、グループ間の取引を含んだ売上高は6,641百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

② 欧米

インフレ抑制のための金融引き締めを加速させていることで、景気減速の傾向が見られるものの、設備投資は底堅く、個人消費は堅調に推移するなど、回復基調が続いております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つであるカタログディストリビューターを中心とする「ネットセールス」や「特定市場」に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比30.1%増、為替の影響も含め3,450百万円（前年同期比59.9%増）となりました。

③ アジア

新型コロナウイルス感染症抑制のためのゼロコロナ政策による経済活動の抑制から、ウィズコロナ政策への転換による急激な感染拡大により中国経済が減速するなど、先行き不透明な状況が続いております。こうした中、当社グループ販売強化項目の一つである「特定市場」に取り組むとともに、新型コロナウイルス感染再拡大により生産活動が制限される場合に備え、在庫水準の増強に取り組むなど積極的な施策を展開してまいりましたが、第1四半期において上海のロックダウンにより販売活動が制限されるなどの影響を受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間の外部顧客向売上高は現地通貨ベースで前年同期比23.8%減、グループ間の取引を含んだ売上高は為替の影響も含め4,716百万円（前年同期比20.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は15,095百万円（前連結会計年度末比1,021百万円の増加）となりました。

主な要因は、現金及び預金（同142百万円の増加）、商品及び製品（同360百万円の増加）、原材料及び貯蔵品（同139百万円の増加）、投資その他の資産（同275百万円の増加）によるものであります。

② 負債

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は2,798百万円（前連結会計年度末比52百万円の減少）となりました。

主な要因は、未払法人税等（同41百万円の増加）、引当金（同65百万円の減少）、その他固定負債（同32百万円の減少）によるものであります。

③ 純資産

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は12,296百万円（前連結会計年度末比1,073百万円の増加）となりました。

主な要因は、利益剰余金（同780百万円の増加）、為替換算調整勘定（同214百万円の増加）によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2022年11月4日に公表しました通期業績予想を修正いたしました。

なお、当該予想に関する詳細につきましては、本日公表の「通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,416,009	5,558,116
受取手形及び売掛金	1,691,448	1,631,203
商品及び製品	1,058,879	1,419,478
仕掛品	74,753	106,571
原材料及び貯蔵品	1,933,738	2,073,105
その他	369,308	440,168
貸倒引当金	△3,747	△3,093
流動資産合計	10,540,390	11,225,550
固定資産		
有形固定資産	2,047,062	2,118,518
無形固定資産	57,217	46,184
投資その他の資産	1,429,391	1,704,862
固定資産合計	3,533,671	3,869,564
資産合計	14,074,061	15,095,115
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,504,880	1,488,577
未払法人税等	36,838	78,653
引当金	122,936	57,474
その他	702,792	700,028
流動負債合計	2,367,448	2,324,733
固定負債		
退職給付に係る負債	81,030	92,903
役員退職慰労引当金	181,020	192,250
その他	221,304	188,782
固定負債合計	483,354	473,935
負債合計	2,850,802	2,798,668
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,799	951,799
資本剰余金	833,305	833,305
利益剰余金	8,798,625	9,579,563
自己株式	△161,955	△162,002
株主資本合計	10,421,775	11,202,664
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	373,146	450,207
為替換算調整勘定	427,743	642,111
その他の包括利益累計額合計	800,889	1,092,318
非支配株主持分	594	1,462
純資産合計	11,223,259	12,296,446
負債純資産合計	14,074,061	15,095,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	6,657,498	7,829,667
売上原価	3,734,991	4,576,168
売上総利益	2,922,507	3,253,499
販売費及び一般管理費	2,112,643	2,350,677
営業利益	809,863	902,821
営業外収益		
受取配当金	22,277	25,218
受取賃貸料	23,778	23,978
為替差益	682	68,448
持分法による投資利益	4,976	12,471
その他	12,498	22,267
営業外収益合計	64,214	152,383
営業外費用		
支払利息	2,980	3,280
賃貸収入原価	12,336	12,243
その他	0	758
営業外費用合計	15,317	16,282
経常利益	858,760	1,038,921
特別利益		
固定資産売却益	—	57,877
特別利益合計	—	57,877
特別損失		
固定資産除却損	620	5,110
事業譲渡損	171,289	—
特別損失合計	171,909	5,110
税金等調整前四半期純利益	686,850	1,091,687
法人税、住民税及び事業税	111,891	234,488
法人税等調整額	△82,440	△48,046
法人税等合計	29,450	186,442
四半期純利益	657,399	905,245
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△139	868
親会社株主に帰属する四半期純利益	657,538	904,376

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	657,399	905,245
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,933	77,060
為替換算調整勘定	136,822	214,367
その他の包括利益合計	118,889	291,428
四半期包括利益	776,289	1,196,673
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	776,428	1,195,805
非支配株主に係る四半期包括利益	△139	868

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、ドイツに新たに設立したNKK Switches Europe GmbHを連結の範囲に含めておりません。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第2四半期連結会計期間より、新たに株式を取得した株式会社東北精器を持分法適用の範囲に含めております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる、四半期連結財務諸表への影響はありません。